

鋁工業出荷内訳表、
鋁工業総供給表を
ちよつとながめてみました

2019年10月
経済産業省 経済解析室

突然ですが、身の回りにある物について少し考えてみて下さい。

- 身の回りにある物はどこで造られていると思いますか？メイド・イン・JAPAN（国産）の製品だと思えますか？それとも外国製だと思えますか？
 - 国内で製造された物はその後国内で売られていると思えますか、それとも海外で売られていると思えますか？
- ざっくり申しますと、鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表はそんな疑問に答えるものだと思ってください。

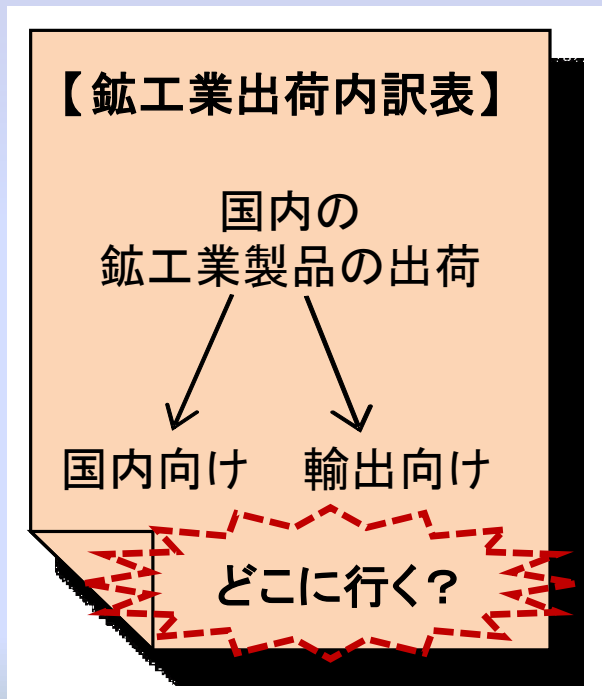
身の回りの物はメイド・イン・JAPAN（国産）？外国製？
国内で製造された物はどこに行く？



では、「鋳工業出荷内訳表」とは何ですか？

- 鋳工業出荷内訳表は、国内の鋳工業製品の出荷が国内と海外輸出のどちらに向けられたのかを表すもので、鋳工業出荷指数と財務省の貿易統計（輸出）を元に、業種別、財別の国内向け出荷指数、輸出向け出荷指数を作成しています。

（細かい内容、難しい内容を盛り込んでいない簡単なイメージ図）



○鋳工業出荷内訳表

鋳工業出荷指数

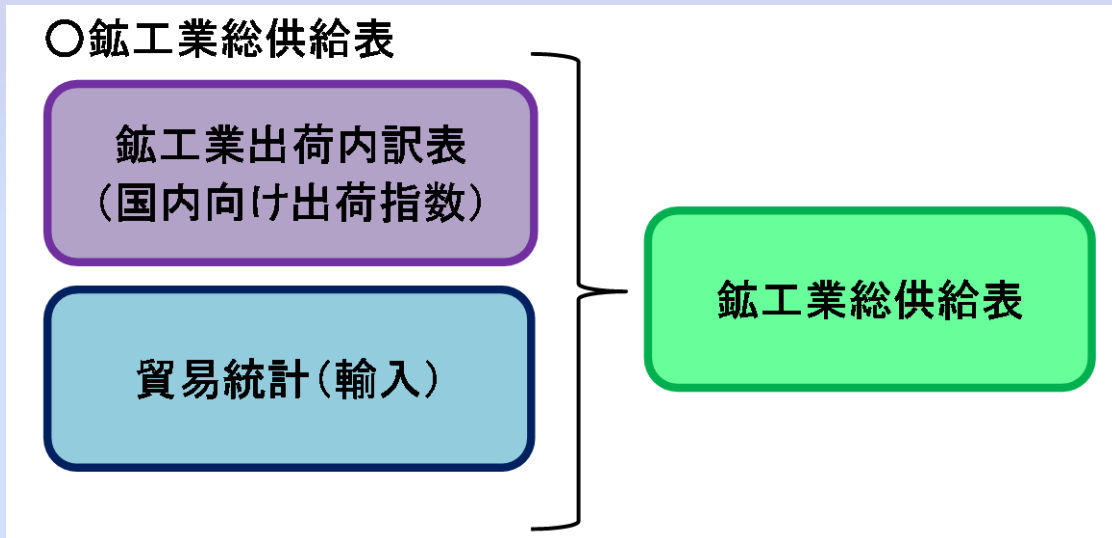
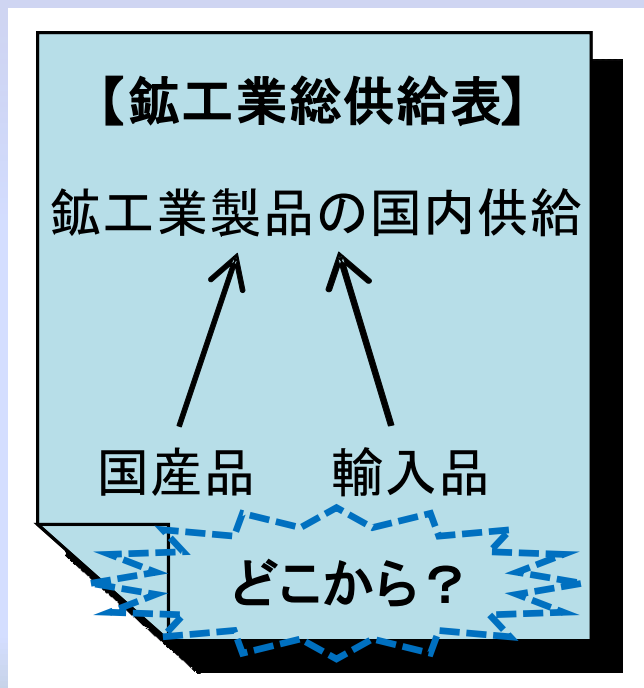
貿易統計(輸出)

鋳工業出荷内訳表

一方、「鋳工業総供給表」とは何ですか？

- 鋳工業総供給表は、国内に供給される鋳工業製品のうち、国産品と輸入品のどちらが供給されたのかを表すもので、鋳工業出荷内訳表の国内向け出荷指数と財務省の貿易統計（輸入）を元に、業種別、財別の国産指数、輸入指数、その合計の総供給指数を作成しています。

（細かい内容、難しい内容を盛り込んでいない簡単なイメージ図）



鋳工業出荷内訳表を見ることで、何がわかるのですか？

まずは [公表サイトに掲載の結果概要](#) を御覧ください。

鋳工業出荷内訳表を見ると、国内の鋳工業製品の出荷が国内向けあるいは輸出向けで、どれだけ増えたのか減ったのかを業種や財別に把握することができます。

鋳工業出荷内訳表、鋳工業総供給表

▼ 結果の概要 ▼ ダウンロードのご案内



概要冊子



データ



図表集



指数の見方

最新結果の概要【2019年8月分】（2019年10月7日発表）

鋳工業出荷内訳表

- 鋳工業出荷は101.1、前月比-1.4%と2か月ぶりの低下となった。
- うち国内向け出荷は99.9、同-2.3%の低下、輸出向け出荷は104.8、同2.5%の上昇となった。

(1) 国内

国内向け出荷の低下に寄与した業種は、「輸送機械工業」（船舶・同機関、乗用車等）、「鉄鋼・非鉄金属工業」（熱間圧延鋼材、非鉄金属精錬・精製品等）等、上昇に寄与した業種は、「電子部品・デバイス工業」（集積回路、電子デバイス）、「電気・情報通信機械工業」（電子計算機、空調・住宅関連機器等）であった。

(2) 輸出

輸出向け出荷の上昇に寄与した業種は、「生産用機械工業」（半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置、その他の生産用機械等）、「輸送機械工業」（乗用車、車体・自動車部品等）等、低下に寄与した業種は、「石油・石炭製品工業」（石油製品）、「化学工業（除、医薬品）」（石油化学系基礎製品、無機化学工業製品等）等であった。

(3) 財別

財別にみると、国内向け出荷については、生産財、資本財等が低下、輸出向け出荷については、資本財、生産財等が上昇となった。

- ▶ 鋳工業指数（IIP）
- ▶ 第3次産業活動指数
- ▶ 全産業活動指数
- ▶ 鋳工業出荷内訳表、総供給表
- ▶ お知らせ等
- ▶ 公表予定
- ▶ 統計の概要
- ▶ Q & A
- ▶ 統計表一覧(データ)
- ▶ 利用上の注意、用語
- ▶ 最新結果の概要
- ▶ 過去の結果概要
- ▶ お役立ちミニ経済解説
- ▶ 経済解析室ニュース
- ▶ 経済解析室 facebook
- ▶ 経済解析室 Twitter

鋳工業総供給表を見ることで、何がわかるのですか？

引き続き、[公表サイトに掲載の結果概要](#)を御覧ください。

鋳工業総供給表を見ると、[国内に供給された鋳工業製品について、国産品あるいは輸入品、その合計の総供給がどれだけ増えたのか減ったのかを業種や財ごとに把握することができます。](#)

鋳工業総供給表

- 鋳工業総供給は99.4、前月比-2.5%と2か月ぶりの低下となった。
- うち国産は100.0、同-2.3%の低下、輸入は97.2、同-3.3%の低下となった。

(1) 総供給

総供給の低下に寄与した業種は、「鉄鋼・非鉄金属工業」（非鉄金属精錬・精製品、熱間圧延鋼材等）、「生産用機械工業」（半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置、その他の生産用機械等）等、上昇に寄与した業種は、「電子部品・デバイス工業」（集積回路、電子デバイス）、「電気・情報通信機械工業」（電子計算機、空調・住宅関連機器等）であった。

(2) 輸入

輸入の低下に寄与した業種は、「鋳業」、「鉄鋼・非鉄金属工業」（電線・ケーブル、非鉄金属圧延製品等）等、上昇に寄与した業種は、「輸送機械工業」（乗用車、船舶・同機関等）、「化学工業（除、医薬品）」（プラスチック、石油化学系基礎製品等）等であった。

(3) 財別

財別にみると、総供給については、生産財、資本財等が低下、輸入については、生産財、非耐久消費財等が低下となった。

[ページ上部へ戻る](#)

最新の指数の解説

● [本年8月は、輸出向け出荷が前月比で上昇したものの、国内向け出荷が前月比で低下。鋳工業出荷全体の低下に寄与した国内向け出荷は生産財の低下寄与が大きかった。...](#) [（続きをみる）](#)

[ページ上部へ戻る](#)

[ダウンロードのご案内](#)

具体的に、公表結果には何が掲載されているのですか？（1）

- 結果を細かく見たいという方は、公表サイトに掲載の「概要冊子」をダウンロードして御覧ください。直近の結果だけでなく過去の指数値、前月比等が載っているので、数値の上がり下がりが一目でわかります。

原指数（年、年度）、
季節調整済指数
（四半期、月）
があります。

前年比、前年度比、
前期比、前月比も
あります。

下方方向にスクロール、
次ページ以降では、
鉱工業全体だけでなく、
業種別、財別の
統計表もあります。

鉱工業出荷内訳表 (The Indices of Industrial Domestic Shipments and Exports)

2015年=100
index, 2015=100

< 鉱工業 ; Mining and manufacturing >

	出荷 Shipments			前年(期・月)比 %Change From Previous Month(Quarter, Year)			Weight
	輸出 Exports	国内 Domestic					
			出荷 Shipments	輸出 Exports	国内 Domestic		
ウエイト	10000.00	2103.88	7896.12				
原指数							Original Index
2016年	99.7	98.5	100.0	-0.3	-1.5	0.0	C.Y. 2016
2017年	102.2	104.6	101.6	2.5	6.2	1.6	2017
2018年	103.0	107.1	101.9	0.8	2.4	0.3	2018
2016年度	100.2	99.9	100.2	0.6	1.1	0.4	F.Y. 2016
2017年度	102.4	105.5	101.6	2.2	5.6	1.4	2017
2018年度	102.6	106.1	101.7	0.2	0.6	0.1	2018
季節調整済指数							Seasonally Adjusted Index
2018年 II期	103.6	108.8	102.6	1.4	2.0	1.8	Q2 2018
III期	102.4	106.2	101.2	-1.2	-2.4	-1.4	Q3
IV期	103.4	106.2	102.8	1.0	0.0	1.6	Q4
2019年 I期	101.2	103.4	100.4	-2.1	-2.6	-2.3	Q1 2019
II期	102.2	102.9	102.3	1.0	-0.5	1.9	Q2
2018年 6月	103.3	109.8	101.7	0.1	2.1	-0.4	Jun. 2018
7月	102.1	103.8	101.4	-1.2	-5.5	-0.3	Jul.
8月	103.0	108.9	101.3	0.9	4.9	-0.1	Aug.
9月	102.1	105.8	101.0	-0.9	-2.8	-0.3	Sep.
10月	104.4	107.9	103.1	2.3	2.0	2.1	Oct.
11月	102.8	104.9	102.5	-1.5	-2.8	-0.6	Nov.
12月	103.1	105.9	102.7	0.3	1.0	0.2	Dec.
2019年 1月	100.6	98.1	100.7	-2.4	-7.4	-1.9	Jan. 2019
2月	102.2	106.4	101.0	1.6	8.5	0.3	Feb.
3月	100.9	105.7	99.6	-1.3	-0.7	-1.4	Mar.
4月	102.7	104.0	103.1	1.8	-1.6	3.5	Apr.
5月	104.0	103.0	104.3	1.3	-1.0	1.2	May
6月	99.8	101.6	99.4	-4.0	-1.4	-4.7	Jun.
7月	102.5	102.2	102.3	2.7	0.6	2.9	Jul.
8月	101.1	104.8	99.9	-1.4	2.5	-2.3	Aug.

具体的に、公表結果には何が掲載されているのですか？（２）

- 「概要冊子」を下方向にスクロール、次ページ以降では、鉱工業全体だけでなく、業種別、財別の統計表もあります。

〈 鉄鋼・非鉄金属工業 ; Iron, steel and Non-ferrous metals 〉

2015年=100
index_2015=100

	出荷			%Ch. Mo
	Shipments	輸出 Exports	国内 Domestic	
ウエイト	890.80	104.99	786.21	
原指数				
2016年	100.5	104.5	100.0	0.5
2017年	102.4	105.3	102.0	1.9
2018年	103.3	98.1	104.0	0.9
2016年度	101.2	107.1	100.4	2.0
2017年度	102.4	102.6	102.4	1.2
2018年度	102.4	94.9	103.4	0.0
季節調整済指数				
2018年 II期	104.7	101.1	105.1	2.4
III期	101.0	94.6	101.7	-3.5
IV期	104.7	95.9	106.0	3.7
2019年 I期	99.3	88.6	100.7	-5.2
II期	100.6	87.7	102.2	1.3
2018年 6月	104.7	99.2	105.4	1.1
7月	102.4	99.3	102.5	-2.2
8月	102.0	92.8	103.1	-0.4
9月	98.5	91.8	99.6	-3.4
10月	107.1	99.5	108.2	8.7
11月	103.7	95.5	104.9	-3.2
12月	103.4	92.8	104.9	-0.3
2019年 1月	99.1	84.7	100.7	-4.2
2月	100.1	89.6	101.4	1.0
3月	98.6	91.4	100.0	-1.5
4月	98.9	86.0	100.6	0.3
5月	102.0	85.6	104.2	3.1
6月	100.8	91.6	101.8	-1.2
7月	100.6	96.6	100.8	-0.2
8月	96.0	98.8	95.6	-4.6

- 4 -

鉱工業出荷内訳表 (The Indices of Industrial Domestic Shipments and Exports)

〈 最終需要財 ; Final demand goods 〉

2015年=100
index_2015=100

	出荷			前年(期・月)比 %Change From Previous Month/Quarter/Year			ウエイト Weight
	Shipments	輸出 Exports	国内 Domestic	出荷	輸出	国内	
				Shipments	Exports	Domestic	
ウエイト	4772.30	957.09	3815.21				
原指数							Original Index
2016年	99.6	97.5	100.1	-0.4	-2.5	0.1	C.Y. 2016
2017年	101.5	101.7	101.5	1.9	4.3	1.4	2017
2018年	102.7	106.1	101.8	1.2	4.3	0.3	2018
2016年度	99.7	97.9	100.1	0.0	-1.2	0.2	F.Y. 2016
2017年度	102.0	103.5	101.6	2.3	5.7	1.5	2017
2018年度	102.3	105.3	101.6	0.3	1.7	0.0	2018
季節調整済指数							Seasonally Adjusted Index
2018年 II期	103.3	108.3	102.1	1.2	1.3	1.4	Q2 2018
III期	102.0	104.0	101.5	-1.3	-4.0	-0.6	Q3
IV期	102.8	104.9	102.6	0.8	0.9	1.1	Q4
2019年 I期	101.5	104.2	100.7	-1.3	-0.7	-1.9	G1 2019
II期	102.9	102.4	103.0	1.4	-1.7	2.3	Q2
2018年 6月	103.1	108.1	102.0	1.1	2.3	0.8	Jun. 2018
7月	101.1	99.5	101.3	-1.9	-8.0	-0.7	Jul.
8月	102.9	108.8	101.5	1.8	9.3	0.2	Aug.
9月	102.1	103.7	101.8	-0.8	-4.7	0.3	Sep.
10月	102.9	106.6	102.5	0.8	2.8	0.7	Oct.
11月	103.0	103.6	103.1	0.1	-2.8	0.6	Nov.
12月	102.6	104.4	102.3	-0.4	0.8	-0.8	Dec.
2019年 1月	99.9	95.6	101.2	-2.6	-8.4	-1.1	Jan. 2019
2月	103.8	109.4	102.4	3.9	14.4	1.2	Feb.
3月	100.8	107.5	98.6	-2.9	-1.7	-3.7	Mar.
4月	104.4	103.6	104.4	3.6	-3.6	5.9	Apr.
5月	105.1	103.5	105.4	0.7	-0.1	1.0	May
6月	99.2	100.1	99.1	-5.6	-3.3	-6.0	Jun.
7月	102.7	102.4	102.5	3.5	2.3	3.4	Jul.
8月	102.1	106.5	101.1	-0.6	4.0	-1.4	Aug.

鉱工業出荷内訳表 (The Indices of Industrial Domestic Shipments and Exports)

〈 金属製品工業 ; Fabricated metals 〉

	出荷			%Ch. Mo
	Shipments	輸出 Exports	国内 Domestic	

〈 投資財 ; Investment goods 〉

2015年=100
index_2015=100

	出荷			前年(期・月)比 %Change From Previous Month/Quarter/Year			ウエイト Weight
	Shipments	輸出 Exports	国内 Domestic	出荷	輸出	国内	
				Shipments	Exports	Domestic	
ウエイト	2159.20	627.09	1532.11				

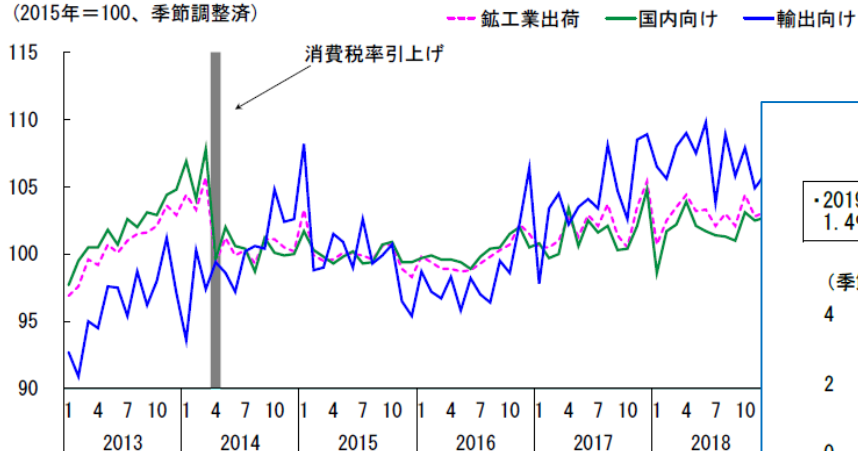
公表結果を用いることで何が分かるのですか？（1）

- 鉱工業出荷全体の増減要因が、国内向け出荷の影響によるものか、輸出向け出荷の影響によるものか、それぞれの影響度合いが分かります。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2019年8月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは99.9(前月比-2.3%)と2か月ぶりの低下、輸出向けは104.8(前月比2.5%)と2か月連続の上昇。

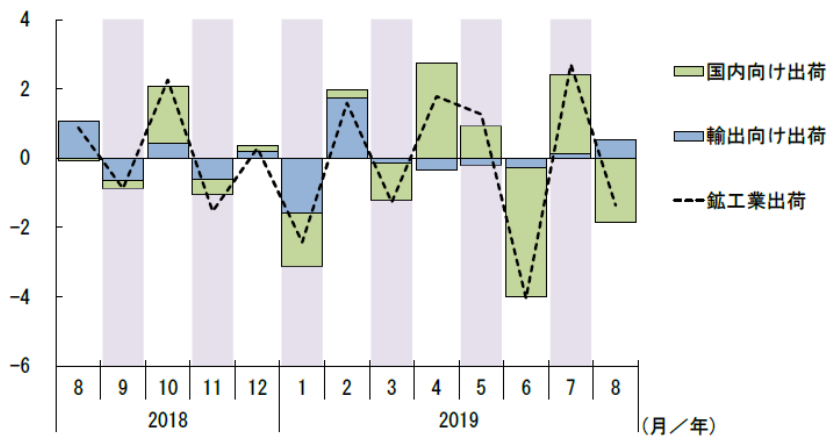
(2015年=100、季節調整済)



鉱工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2019年8月の鉱工業出荷は輸出向けは上昇したものの、国内向けは低下したため、前月比-1.4%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



※ このグラフは、公表サイトに掲載している「図表集」の一例です。
「図表集」では、数値だけでは分かりにくい統計データを、グラフや表を使って分かりやすく表現しています。

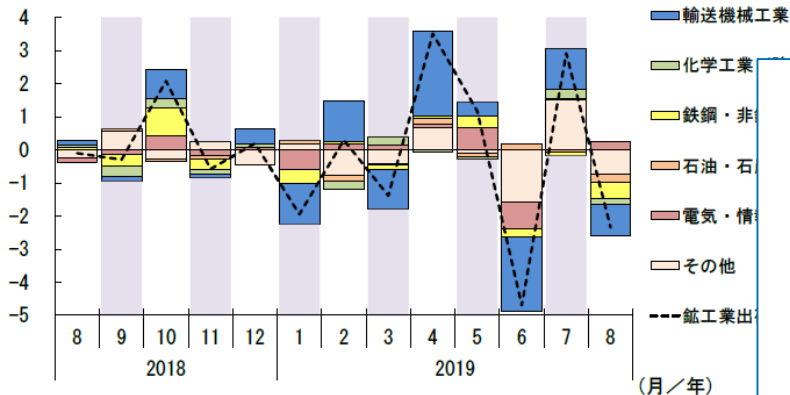
公表結果を用いることで何が分かるのですか？（2）

- 国内向け出荷、輸出向け出荷、それぞれの増減要因について、業種別、財別に影響度合いが分かります。

国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2019年8月の国内向け出荷を主要業種別にみると、電気・情報通信機械工業が上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

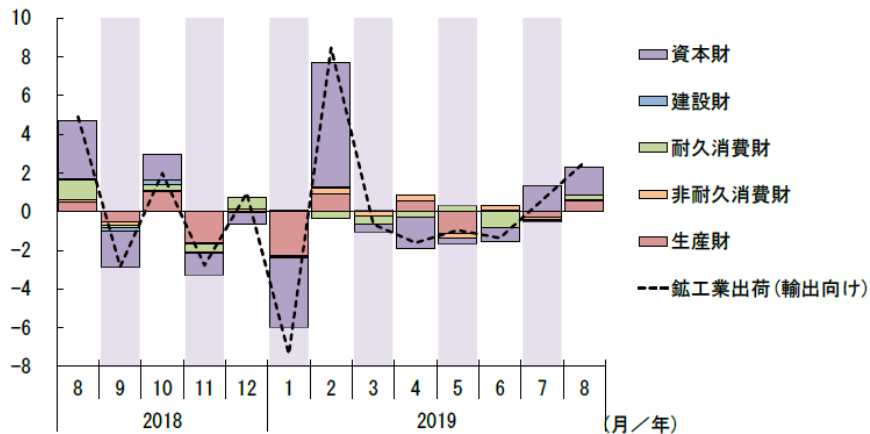


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。業種別には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除、医薬品) 通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2019年8月の輸出向け出荷を財別にみると、資本財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



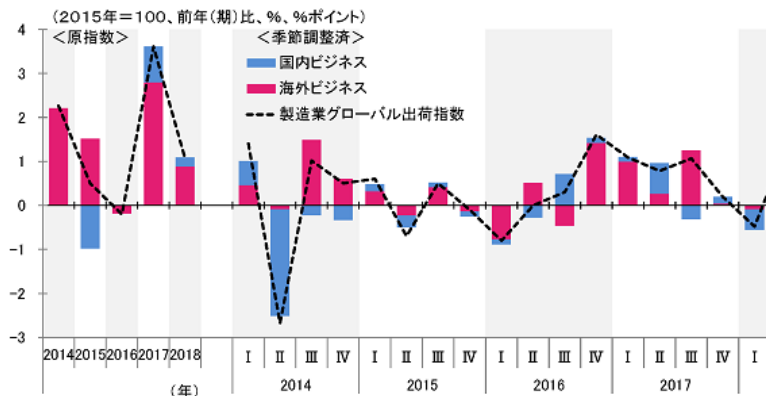
※ このグラフは、公表サイトに掲載している「図表集」の一例です。「図表集」では、数値だけでは分かりにくい統計データを、グラフや表を使って分かりやすく表現しています。

鋳工業出荷内訳表、総供給表を用いた事例は何かありますか？（1）

- 経済産業省経済解析室が2019年5月にミニ経済分析で公開した「グローバル出荷指数 2018年（2015年基準）」では、鋳工業出荷内訳表を用いた分析を行っています。国内製造事業所の国内向け出荷（国内ビジネス）、輸出向け出荷（海外ビジネスの内訳）の算出に鋳工業出荷内訳表を使用しています。

国内ビジネス、海外ビジネスの前年（期）比寄与の変化

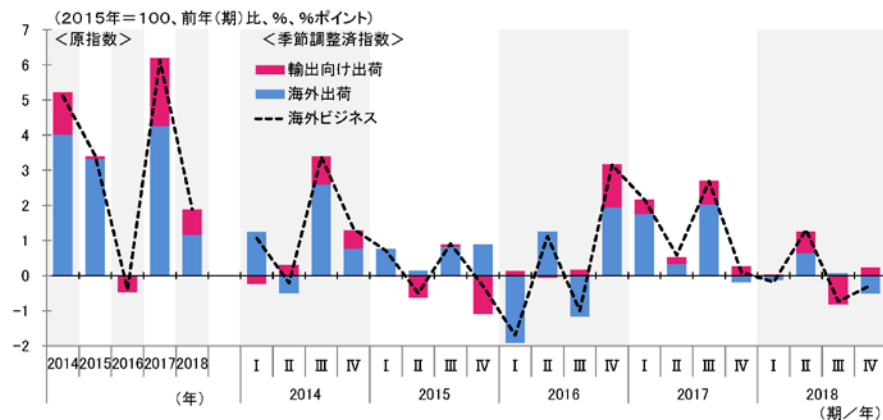
2018年のグローバル出荷指数（原指数）全体の上昇に対し、海外ビジネス及び国内ビジネスともに上昇寄与。



(資料) 経済産業省「鋳工業出荷内訳表」、「海外現地法人四半期調査」より作成（試算値）。

海外ビジネスの内訳前年（期）比寄与の変化

2018年の海外ビジネス（原指数）の全体の上昇に対し、海外現地法人における出荷及び日本国内からの輸出向け出荷はともに上昇寄与。



(資料) 経済産業省「鋳工業出荷内訳表」、「海外現地法人四半期調査」より作成（試算値）。

鉱工業出荷内訳表、総供給表を用いた事例は何かありますか？（2）

- 内閣府で毎月公表している「月例経済報告」の設備投資の動向文内には、鉱工業総供給表の『資本財の総供給指数』に関する記述があります。



内閣府
Cabinet Office

(URL) <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [経済財政政策](#) > [月例経済報告](#)

月例経済報告

月例経済報告（月次）

【予定】令和元年10月の公表予定日：未定

- ▶ [主要経済指標](#)
- ▶ [月例経済報告等に関する関係閣僚会議](#)
- ▶ [消費総合指数 \(Excel形式:101KB\)](#) (令和元年9月)
- ▶ [総雇用者所得 \(Excel形式:114KB\)](#) (令和元年10月)
- ▶ [消費者物価 \(生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因\)](#)
- ▶ [GDPギャップ、潜在成長率 \(Excel形式:63KB\)](#)

令和元年

▶ [5月 \(73KB\)](#) ▶ [6月 \(386KB\)](#) ▶ [7月 \(386KB\)](#)

各論

1. 消費・投資等の需要動向

個人消費は、持ち直している。

個人消費は、持ち直している。実質総雇用者所得は緩やかに増加している。また、消費者マインドは弱含んでいる。

需要側統計（「家計調査」等）と供給側統計（鉱工業出荷指数等）を合成した消費総合指数は、7月は前月比0.1%増となった。個別の指標について、最近の動きをみると、「家計調査」（7月）では、実質消費支出は前月比0.9%減となった。販売側の統計をみると、「商業動態統計」（7月）では、小売業販売額は前月比2.3%減となった。新車販売台数及び家電販売は、持ち直している。旅行は、おおむね横ばいとなっている。外食は、緩やかに増加している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善するなかで、持ち直しが続くことが期待される。

設備投資は、機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。

設備投資は、機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。需要側統計である「法人企業統計季報」（4－6月期調査、含むソフトウェア）でみると、2019年4－6月期は前期比1.5%増となった。業種別にみると、製造業は同4.3%減、非製造業は同4.7%増となった。機械設備投資の供給側統計である資本財総供給（国内向け出荷及び輸入）は、一部に弱さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。ソフトウェア投資は、緩やかに増加している。

鉱工業出荷内訳表、総供給表を用いた事例は何かありますか？（3）

- 「月例経済報告主要経済指標」の「3.民間設備投資」では、鉱工業総供給表の『資本財（除く輸送機械）の総供給指数』の前月比等が掲載されています。



(URLの例) <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/shihyou-index.html>
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2019/09shihyou/keizai-shihyou.html>
 ↑ ※ 公表年月によりURLが異なる

内閣府ホーム > 内閣府の政策 > 経済財政政策 > 月例経済報告関係資料 > 月例経済報告 > 月例経済報告主要経済指標 > 令和元年9月19日

月例経済報告主要経済指標（令和元年9月19日）

1 我が国経済

1. [国民所得統計速報（PDF形式：30KB）](#)
2. [個人消費（PDF形式：109KB）](#)
3. [民間設備投資（PDF形式：123KB）](#)
4. [住宅建設（PDF形式：78KB）](#)
5. [公共投資（PDF形式：66KB）](#)
6. [輸出・輸入・国際収支（PDF形式：332KB）](#)
7. [生産・出荷・在庫（PDF形式：191KB）](#)
8. [企業収益・業況判断（PDF形式：57KB）](#)
9. [倒産（PDF形式：103KB）](#)
10. [雇用情勢（PDF形式：67KB）](#)
11. [物価（PDF形式：90KB）](#)
12. [金融（PDF形式：304KB）](#)
13. [景気ウォッチャー調査（PDF形式：73KB）](#)

3. 民間設備投資

設備投資は、機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。

法人企業統計手報	[2018年実績]	[2017年]	[2018年]	2018年度	2018年度	2018年	10—
	2018年度末額	2017年度	2018年度				
全産業	[48.8兆円]	[3.7]	[6.2]	8.4	5.9	(▲ 3.1)	4.5
製造業	[17.5兆円]	[0.6]	[8.9]	11.8	9.6	(▲ 8.0)	5.1
非製造業	[31.3兆円]	[5.5]	[4.7]	6.5	4.0	(▲ 0.3)	4.2
大中堅企業	[37.1兆円]	[3.8]	[9.5]	11.5	9.3	(▲ 8.7)	5.6
中小企業	[11.7兆円]	[3.5]	[▲ 3.1]	0.3	▲ 4.5	(16.0)	1.6

(備考) 1. 年・年度及び半期の伸び率、大中堅企業・中小企業の季節前同期比は内閣府試算値。実績はそれぞれの系列ごとに四捨五入しているため、2. ソフトウェア投資を含む。

	[2018年実績]	[2017年]	[2018年]	2018年	2019年	2019年	2019年
	2018年度末額	2017年度	2018年度				
資本財出荷指数 (除く輸送機械)	—	[5.2]	[3.9]	(1.6)	(▲ 7.4)	(2.5)	5
資本財総供給指数 (除く輸送機械)	—	7.0	▲ 0.2	1.2	▲ 6.0	▲ 6.6	5
機械投資	[10.5兆円]	[▲ 1.1]	[3.6]	(▲ 3.2)	(▲ 3.2)	(7.5)	▲
(船舶・電力を除く民間)	10.4兆円	▲ 0.8	2.8	2.0	▲ 2.5	4.1	▲
建築着工 工事費予定額 (民間非居住用)	[9.8兆円]	[9.2]	[0.7]	(▲ 1.3)	(▲ 5.8)	(8.9)	▲
	9.6兆円	6.2	▲ 0.9	0.5	▲ 6.0	3.5	▲

(備考) 1. Pは速報値。2. 建築着工工事費予定額（民間非居住用）は、建築着工統計調査報告（国土交通省）を基に内閣府で試算したものである。

主要機関の設備投資アンケート調査結果

機関名	日本銀行	日本政策投資銀行
調査名	全国企業短期経済観測調査	全国設備投資計画調査

参考情報（公表サイト）

最新の結果はこちら：<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鉛工業出荷内訳表、鉛工業総供給表

● 結果の概要 ● ダウンロードのご案内



概要冊子



データ



図表集



指数の見方

最新の結果を
簡単にまとめています。

最新結果の概要【2019年8月分】（2019年10月7日発表）

鉛工業出荷内訳表

- 鉛工業出荷は101.1、前月比-1.4%と2か月ぶりの低下となった。
- うち国内向け出荷は99.9、同-2.3%の低下、輸出向け出荷は104.8、同2.5%の上昇となった。

(1) 国内

国内向け出荷の低下に寄与した業種は、「輸送機械工業」（船舶・同機関、乗用車等）、「鉄鋼・非鉄金属工業」（熱間圧延鋼材、非鉄金属精錬・精製品等）等、上昇に寄与した業種は、「電子部品・デバイス工業」（集積回路、電子デバイス）、「電気・情報通信機械工業」（電子計算機、空調・住宅関連機器等）であった。

(2) 輸出

輸出向け出荷の上昇に寄与した業種は、「生産用機械工業」（半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置、その他の生産用機械等）、「輸送機械工業」（乗用車、車体・自動車部品等）等、低下に寄与した業種は、「石油・石炭製品工業」（石油製品）、「化学工業（除、医薬品）」（石油化学系基礎製品、無機化学工業製品等）等であった。

(3) 財別

財別にみると、国内向け出荷については、生産財、資本財等が低下、輸出向け出荷については、資本財、生産財等が上昇となった。

鉛工業総供給表

- 鉛工業総供給は99.4、前月比-2.5%と2か月ぶりの低下となった。
- うち国産は100.0、同-2.3%の低下、輸入は97.2、同-3.3%の低下となった。

経済解析室コンテンツ

- 鉛工業指数（IIP）
- 第3次産業活動指数
- 全産業活動指数
- 鉛工業出荷内訳表、総供給表
 - > お知らせ等
 - > 公表予定
 - > 統計の概要
 - > Q & A
 - > 統計表一覧(データ)
 - > 利用上の注意、用語
 - > 最新結果の概要
 - > 過去の結果概要
- お役立ちミニ経済解説
- 経済解析室ニュース
- 経済解析室 facebook
- 経済解析室 Twitter

参考情報（公表サイト）

最新の結果はこちら：<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

最新の結果ページ上部の「図表集」アイコンをクリックすると、図表集のページに飛びます。

本資料は、ここよりダウンロードできます。

経済解析室「メンテナンス」

- ① 鉱工業指数（IIP）
- ② 第3次産業活動指数
- ③ 全産業活動指数
- ④ 鉱工業出荷内訳表、総供給表

結果の概要 ダウンロードのご案内

概要冊子 データ **図表集** 指数の見方

スライドの右側をクリック、タップすると、ページが進みます。左側をクリック、タップすると、ページが戻ります。

スライドショー

スライドの右側をクリック、タップするとページが進みます。左側をクリック、タップするとページが戻ります。

2019年8月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2019年10月7日
経済解析室

URI : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

ダウンロード

- ① 概要冊子
- ② 国内向け／輸出向け出荷の動向 図表集**
- ③ 時系列データのダウンロード
- ④ 過去の結果概要

pdfファイルによる図表集は、ここよりダウンロードできます。

参考情報（公表サイト）

各種結果（データダウンロード）についてはこちら：

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/b2015 result-2.html>

最新の結果ページ
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>
上部にある「データ」アイコンをクリックしても、データダウンロードのページに飛びます。

経済分析室コンテンツ

- ① 鉱工業指数（IIP）
- ② 第3次産業活動指数
- ③ 全産業活動指数
- ④ 鉱工業出荷内訳表、総供給表

結果の概要 ダウンロードのご案内

概要冊子 **データ** 図表集 指数の見方

鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表 集計結果又は推計結果（データダウンロード）

● 鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表（2013年1月～2019年8月） ● 過去の鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表指数（1978年1月～2017年12月） ● その他の鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表の参考資料

鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表

データ期間：2013年1月～2019年8月

更新：2019年10月7日

* 2012年以前のデータはこちら

公表冊子に掲載されていない過去分から最新結果までの時系列データは、ここよりダウンロードできます。

		2015年 = 100
		Excel形式
		季節調整済指数 (年・年度は原指数)
鉱工業出荷内訳表	年・年度・四半期	b2015_yqutw.xls
	月次	b2015_utw.xls
鉱工業総供給表	年・年度・四半期	b2015_yqskk.xls
	月次	b2015_skk.xls

※ 利用に際しては、利用上の注意も併せて御覧ください。

参考情報（公表サイト）

各種結果（データダウンロード）についてはこちら：

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/b2015_result-2.html

ページ下にスクロールすると接続指数、各種参考資料があります。

ページ上部へ戻る

過去の鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表指数（接続指数）

更新：2019年3月15日

現在の基準と過去の基準の数字は異なります。
それを便宜的につないだ「接続指数」が見られます。

		2015年 = 100
		Excel形式
		季節調整済指数
鉱工業出荷内訳表	四半期（1978年～2017年）	b2015_squtw.xls
	月次 1998年1月～2017年12月	b2015_sutw.xls
鉱工業総供給表	四半期（1983年～2017年）	b2015_sqskk.xls
	月次 1998年1月～2017年12月	b2015_sskk.xls

※ 2013年から2017年12月までのデータは、上で公表している2015年基準の指数値と同じです。

ページ上部へ戻る

その他の鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表の参考資料

更新：2019年3月15日

改定の概要、ウェイトを見たい場合は、
ここよりダウンロードできます。

- [2015年基準改定の概要](#)
- [ウェイト（業種別及び財別）](#)
- [2010年基準のページ](#)